



2014年11月18日

航空大学校

全日本空輸株式会社

航空大学校／ANA共同リリース

ANA、航空大学校に現役パイロットを派遣

～ANAの現役機長が航空大学校の教官に～

独立行政法人航空大学校と全日本空輸株式会社(ANA)は、2014年12月1日(月)よりANAの現役パイロットを教官要員として航空大学校仙台フライト課程へ派遣することについて合意しました。

日本の航空業界では、短期的には国際線を中心とした航空需要の増大に伴う航空市場の拡大やLCCの台頭、中長期的には現在主力である40代のパイロットが大量退職する時代を迎えることにより、深刻なパイロット不足が懸念されています。

そのような環境下、安定的かつ計画的に質の高いパイロットを育成し、日本におけるパイロット養成の中心的な役割を果たしている航空大学校に対し、ANAは現役のパイロットの派遣を通じて蓄積してきた実運航の知識やノウハウを提供することにより、将来の航空業界を担う学生に対してエアラインパイロットとしての資質の定着を促すとともに、日本におけるパイロットの安定供給に貢献してまいります。

今般、ANAからは、現役の機長を航空大学校仙台フライト課程に派遣いたします。仙台フライト課程は、エアラインの運航形態とほぼ同様の「計器飛行方式」にて訓練を実施する最終課程であり、教官として学生の指導に直接携わることにより、エアラインパイロットとして必要な能力の向上などをサポートしていきます。

なお、期間は、二年間を予定していますが、以後も双方のニーズを確認し、必要に応じて継続します。

【独立行政法人航空大学校】

代表者：理事長 紀 勝幸

本 校：宮崎県宮崎市

【全日本空輸株式会社(ANA)】

代表者：代表取締役社長 篠辺 修

本 社：東京都港区